

10日 木曜

ルカ

20:9 また、イエスは、民衆にこのようなたとえを話された。「ある人がぶどう園を造り、それを農夫たちに貸して、長い旅に出た。

20:10 そして季節になったので、ぶどう園の収穫の分けまえをもらうために、農夫たちのところへひとりのしもべを遣わした。ところが、農夫たちは、そのしもべを袋だたきにし、何も持たせないで送り帰した。

20:11 そこで、別のしもべを遣わしたが、彼らは、そのしもべも袋だたきにし、はずかしめたうで、何も持たせないで送り帰した。

20:12 彼はさらに三人目のしもべをやったが、彼らは、このしもべにも傷を負わせて追い出した。

20:13 ぶどう園の主人は言った。『どうしたものか。よし、愛する息子を送ろう。彼らも、この子はたぶん敬ってくれるだろう。』

20:14 ところが、農夫たちはその息子を見て、議論しながら言った。『あれはあと取りだ。あれを殺そうではないか。そうすれば、財産はこちらのものだ。』

20:15 そして、彼をぶどう園の外に追い出して、殺してしまった。こうなると、ぶどう園の主人は、どうするでしょう。

20:16 彼は戻って来て、この農夫どもを打ち滅ぼし、ぶどう園をほかの人たちに与えてしまいます。」これを聞いた民衆は、「そんなことがあってはなりません。」と言った。

20:17 イエスは、彼らを見つめて言われた。「では、『家を建てる者たちの見捨てた石、それが礎の石となった。』と書いてあるのは、何のことでしょう。

20:18 この石の上に落ちれば、だれでも粉々



に砕け、またこの石が人の上に落ちれば、その人を粉みじんに飛び散らしてしまうのです。」

神様が遣わした預言者を信じないで、さらには御子イエス様までも受け入れない人々は、この悪い農夫たちを同じです。彼らは「財産はこちらのものだ」と、自分たちの貪欲のために神様に敵対する者たちなのです。

主を信じないで自分勝手に生きることも個人の自由であると主張する人もいますが、決してそうではありません。イエス様の敵対者は結局、イエス様を十字架にかけてしまったのです。

神様への敵対者がどのような存在であるか、理解しましょう。また自分自身のうちにそのような神を受け入れない貪欲がないかどうか、自己吟味しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

